

令和4年度青森県スマート農業推進セミナー開催要領

1 目的

県では、農業の労働力不足が進行する中で、農業の生産性向上と省力化を図るため、ロボットやI o Tなどの先端技術を活用したスマート農業推進に取り組んでいる。
この一環として、本セミナーを開催し、スマート農業による産地化の取組やスマート農業技術・機械の開発・実証の状況について理解を深めるものである。

2 日時

令和5年2月14日（火） 15：00～16：40

3 場所

青森県総合社会教育センター 大研修室（青森市大字荒川字藤戸119-7）

4 内容

（1）講演（15：00～16：00）

「太陽光利用型植物工場によるサステナブルな多収生産と作業合理化の取組」

講師：株式会社寅福 代表取締役 加藤夢人 氏

＜株式会社寅福の概要＞

- 2014年の創立以降、北海道上ノ国町でトマト・アスパラガスの栽培に取り組んでおり、2019年には栽培面積2.5haの太陽光利用型トマト植物工場を建設している。
- 複合環境制御装置を使用したオランダ式の栽培管理により50t/10aを超える単収を実現しているほか、温泉熱利用による化石燃料使用量の削減やボイラーが排出するCO₂を植物の光合成に活用する等、環境にやさしい持続的な農業に取り組んでいる。
- 現在、むつ市においても、栽培面積3ha規模のトマト植物工場の建設を計画している。



北海道上ノ国町の植物工場

（2）青森型スマート農業技術・機械の開発の経過報告（16：10～16：40）

ア「トヨタのカイゼン手法によるりんごの生産性向上に向けた取組」

トヨタ自動車株式会社 アグリバイオ事業部 担当者

（リモートによる報告を予定）

イ「施設園芸における本県に適した自動かん水・施肥システムの開発に向けたデータ分析の取組 ～夏秋トマト篤農家のかん水技術のデータ化～」

地方独立行政法人青森県産業技術センター

農林総合研究所 花き・園芸部 研究管理員 齋藤 雅人 氏

5 参集範囲

農業者、農業関係団体、市町村、地域県民局地域農林水産部、県関係課等

6 出席申込

別紙「出席申込書」により、令和5年2月7日（火）までに、FAX又はメールで申し込んでください。

7 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

- (1) 開催方法の変更又は中止の可能性があることを御了承ください。
- (2) 発熱、咳、喉の痛みなどの症状がある方は、出席を御遠慮ください。
- (3) 出席される方は、マスク着用の上、主催者が準備する検温及び手指の消毒に御協力ください。

13:00～14:45 同会場において、
「地方独立行政法人青森県産業技術センター農林総合研究所研究成果発表会」
が開催されます。

【問合せ先】

青森県農林水産部農林水産政策課 産業技術高度化推進グループ

TEL 017-734-9474 FAX 017-734-8133、メールアドレス: nosui@pref.aomori.lg.jp